

## Vol.12 新しい挑戦が始まります

先月から今月にかけては電子書籍に関する大きな動きが集中しました。

12月10日にはシャープの「GALAPAGOS」とソニーの「Reader」が同時に発売され、両者向けのコンテンツ販売サイトもオープンしました。

また出版社様や他の印刷会社様など、各プレイヤーの動きも活発です。主な動きを、いつも末尾に掲載しております<トピックス>に今回は拡大版でまとめましたので、そちらもご覧下さい。

今年は「電子書籍元年」と言われ続け、iPadのブームに始まりさまざまな電子書籍制作ツール、電子書籍ビジネスの出現、スマートフォンや電子書籍端末の続々リリースなど、大きな動きがありました。将来の展望については積極的な意見・懐疑的な意見など様々な議論がありますが、振り返ってみると1年前とは電子書籍を取り巻く環境がまったく変わっているのも確かです。来年もこの流れは続いてゆくでしょう。

- ・これから電子書籍はどのような形になっていくのか？
- ・ファイルフォーマットは統一されるのか？
- ・紙の書籍との住み分けはなされていくのか？
- ・そもそも電子書籍は売れるのか？

まだまだ先が見えにくい状況ではありますが、「紙の書籍はなくならないが、電子書籍は普及する」というビジョンの下、われわれ倉敷印刷でも来年は本格的に電子書籍制作を進めてまいります。

これまでの「デジタルパブリッシングフェア」が来年には規模を拡大して「[[国際]電子出版EXPO」となります。引き続き弊社も出展してお客様にソリューションをお届けして参りますのでどうぞよろしく願いいたします。(7月7日(木)～7月9日(土)東京ビッグサイトで開催)

来年は、兎年です。よ～く耳を立てて、これからもより良い情報をお伝えして参りますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いいたします。

御社のご発展と読者様のご健勝を祈念申し上げます。良き年をお迎えください。

本年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願い申し上げます。

## <トピックス> (拡大版!)

- 11/24 インプレス R&D 様は、電子書籍化された調査レポートを章ごとに購入できたり購入したデータをオンデマンド印刷・製本できる電子書籍販売サイト「libura PRO」をオープンしました。
- 11/25 大日本印刷様は電子書店「ウェブの書齋」をリニューアルし、国内最大級の電子書店「honto」を開設しました。
- 11/30 山と溪谷社様が iPhone & iPad 向け電子書店アプリ「Yamakei Store」を提供開始しました。
- 11/30 学研ホールディングス様が iPhone & iPad 向け電子書店アプリ「学研電子ストア」を提供開始しました。
- 11/30 暁印刷様と豊国印刷様が中心になり進められている「e-Book Digital Factory」事業が、北海道岩見沢市に制作拠点を設置しました。
- 12/1 図書印刷様は、Twitter による割引サービスもある電子書籍の販促キャンペーンサイト「ブッカーボン」をオープンしました。
- 12/3 メディアファクトリー様が新書の電子書籍化を発表しました。
- 12/3 角川書店様は「BOOK☆WALKER」で iPhone & iPad 向けにアプリの提供を開始しました。
- 12/6 Google 社が電子ブックストアサービス「Google eBooksotre」を正式発表しました。
- 12/7 大日本印刷様、ドコモ様、CHI グループ様がハイブリッド型総合書店を運営する「トゥ・ディファクト」の設立を発表しました。
- 12/10 シャープ様の「GALAPAGOS」、ソニー様の「Reader」が同日に発売されました。
- 12/14 日本書籍出版協会など4団体が、iTunes App Store での違法コピー作品アプリ配信（村上春樹さんなどの作品が違法配信されました）について Apple 社へ正式に抗議しました。
- 12/15 カナリア書房様がアクセルマーク様と提携し電子書籍市場への参入を発表しました。
- 12/22 ダイヤモンド社様が iPhone & iPad 向け電子書店アプリ「ダイヤモンドボックス」を提供開始しました。
- 12/25 KDDI 様が電子書籍端末「biblio Leaf SP02」を発売しました。
- 東京スカイツリー（完成時の高さ 634m）も 529m となりました（12/18 現在）。現在「ゲイン塔」と呼ばれる棒のようなもの（といっても直径は 6m もあるとのこと。アンテナ等が取り付けられます）が塔本体の中から徐々に持ち上げられており、弊社社屋から見ても日に日に高くなっていくのが分かります。完成が楽しみです。

---

## <余談>

「電子書籍元年」と言われた今年、「自分でも電子書籍を体験しなくては！」という使命感に燃えた(?) 自分の電子書籍体験を振り返ってみました。

★5月初旬 iPod touch を購入。Wi-Fi でネットにつなぎ手当たり次第に書籍アプリ・書店アプリをダウンロードしました。無料の青空文庫にハマリ、端末代の元を取った気分。

★5月下旬 iPad 発売と同時に会社で iPad 購入。画面のきれいさと操作感覚の新鮮さに感動しました。

★10月下旬 EInk 社の電子ペーパーを搭載した端末「eSlik」が特価で売り出されたので即注文。プリインストールされているパブリックドメインの作品や、ウェブ上で有料・無料で頒布されている PDF などを読んでいます。また「自炊」したデータも読むことができます。ほぼ新書判サイズで軽く（約 180g）、コートの胸ポケットにも入るので気軽に持ち歩けます。頁の切り替わりが遅いのは難点ですが、目に優しいのと電池残量を気にせず読めるのは良いです。

★11月～ 弊社でも社員が続々とスマートフォンを購入。iPhone は以前から持っている社員がおりましたが、10月末にまず私が docomo の「GALAXY S」を購入。その後 au の「IS03」、softbank の「GALAPAGOS 003SH」と、3キャリアのスマートフォンが倉敷印刷に勢ぞろい。さらに「Windows Phone」（日本では携帯キャリアから未発売のため Wi-Fi 接続のみ）までやって来ました。

★12月 シャープが満を持してリリースした「GALAPAGOS」を会社で即購入。5.5型モバイルモデルのちょうど良い大きさと読みやすさに、自分でも購入したくなりました。また、会社では購入しておりませんがソニーの「Reader」も気になる存在です。12月現在ではまだまだ書籍のラインナップが少ないようではありますが、家電量販店で実機を触ってみた印象としては、モノとしての魅力を感じますしタッチパネルも思ったより快適な動きです。

数えてみたところ、今年私は有料・無料含め 60 点以上（約半数は青空文庫）の書籍・コミックをダウンロードしていました。そして 9 割方は読了しています。自分に限って言うと明らかに読書量・書籍に費やす金額ともに増えました。人により様々な見解があるのは承知していますが、自身の体験からすると、電子書籍は決して活字文化を滅ぼすようなものではなく新たな本との出会いを増やし活字文化を盛り上げていくものだという思いを強くしました。

\*\*\*\*\*

※ 弊社では、「InPeria」を ASP サービスでご利用いただき、印刷物・eラーニング・様々なシステム開発受託の請負を目的としております。  
XML 化出版について、お気軽に担当営業にご相談ください。

<http://www.kp-print.co.jp/>

倉敷印刷

検索

倉敷印刷株式会社  
東京都墨田区錦糸 4-16-17  
TEL:03-6658-0031 mail: systeminfo@kp-print.co.jp